

<基本情報>

所在地：宮崎県日之影町

<農場概要>

- 面積：茶5.3ha（全て有機JAS認証を取得）
- 生産から製造・加工・販売までの一貫経営を確立
- 労働力：代表夫妻、父、正社員等10人



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 先代の父が行っていた茶栽培を、全て無農薬・無化学肥料の有機茶栽培に切り替えることを条件に、現代表が平成4年（1992年）に就農。
- その後、徐々に有機栽培を進め、平成15年（2003年）に有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 販売量は年間約16トン。殆どが釜炒り茶で他に紅茶、烏龍茶を製造。
- 販売先は直販が7割で、その他はJA等。
- 人口減少による国内茶市場縮小が進む中、更なる販売拡大を見据え海外輸出にも取り組む。現在の主な輸出国はカナダ及び欧州。
- その他、消費者の多様なニーズを踏まえ、ティーパック茶、粉末茶等の商品を開発して販売。



【お問合せ先】 Tel. 0982-87-2643 Fax. 0982-87-2648
ホームページ：<http://www.issin-en.com/>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
 - ・病害虫に弱い品種（やぶきた）から病害虫に強い品種（さえみどり、かなやみどり、みやまかおり等）へ品種分散。
 - ・2番茶収穫後、適正な時期に剪枝を行い、病気の発生を抑制。
- **雑草対策**
 - ・中熟の草堆肥を畝間に敷くことで雑草を抑制。
- **土づくり**
 - ・ススキ等の草と焼酎かすを利用した自家製発酵草堆肥やなたね油粕・米ぬかを発酵させた肥料を施用し、高品質な有機茶生産を実現。
 - ・圃場ごとに年1回の土壌診断を必ず行い、微量要素の状況を確認し、適切なミネラルバランスを取り、栽培土壌の最適化を図っている。

<苦労しているところ>

- 急傾斜地での茶摘みや除草作業が重労働になっている。特につる性の雑草や宿根性のヤブガラシなどの除草に苦労。

<現場の課題>

- 気候変動に伴う夏場の作業における暑さ対策。

<今後の展開>

- ハーブ等のブレンドティーの開発やお茶に関する体験イベントなど、新たな取組に挑戦中。

